

下関市道路維持修繕計画

【道路舗装編】



令和3年9月

下関市 建設部

目 次

1. 舗装の現状と課題

- 1.1 管理道路の現状
- 1.2 道路維持管理予算の現状
- 1.3 舗装の現状

2. 舗装の維持管理の基本的な考え方

- 2.1 舗装管理の基本方針
- 2.2 管理道路の分類（グループ分け）
- 2.3 管理基準
- 2.4 点検方法・点検頻度

3. 計画期間

- 3.1 計画期間
- 3.2 計画期間内の修繕費用の見通し

4. 対策の優先順位（補修計画の方針）

5. 舗装の状態、対策内容、実施時期

- 5.1 診断結果
- 5.2 対策内容と実施時期

<別紙> 舗装劣化・損傷判定シート

1. 舗装の現状と課題

1.1 管理道路の現状

(1) 管理延長と舗装延長

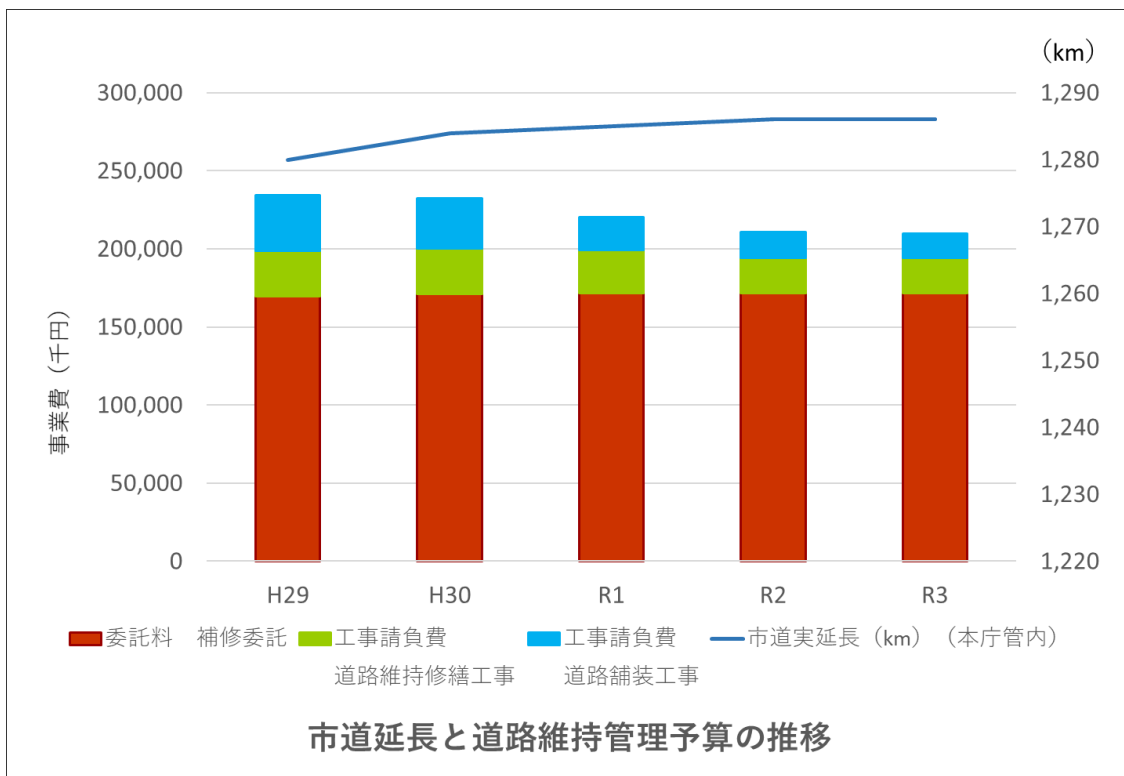
管理延長は約 2,111 km であり、舗装率は 92.1% である。

道路区分	管理延長	舗装延長		舗装率
		AS舗装	CO舗装	
1級市道	236.279km	230.342km	1.326km	98.0%
2級市道	213.771km	198.202km	5.322km	95.2%
その他市道	1661.204km	1388.560km	120.222km	90.8%
計	2111.254km	1817.104km	126.870km	92.1%

※AS 舗装に簡易舗装を含む。(令和 3 年 3 月 31 日現在)

1.2 道路維持管理予算の現状

過去 5 年間の市道延長と道路維持管理予算の推移を以下に示す。



市道実延長は年々伸びているが、道路維持管理予算は減少している。

1.3 舗装の現状

令和3年度に実施した重要道路44路線の路面性状調査結果を以下に示す。

調査延長	MCI < 3	3 ≤ MCI ≤ 5	MCI > 5
60.2km	5.8km	24.3km	30.1km

なお、調査は路面性状測定車により「ひび割れ率(%)」、「わだち掘れ率(mm)」、「平坦性(mm)」を測定しMCI (Maintenance Control Index: 維持管理指数) 値を算出する。

MCI 値は、下記4式で計算し、もっとも小さな値を採用する。

$$MCI = 10 - 1.48C^{0.3} - 0.29D^{0.7} - 0.47\sigma^{0.2} \quad (1式)$$

$$MCI0 = 10 - 1.51 C^{0.3} - 0.30 D^{0.7} \quad (2式)$$

$$MCI1 = 10 - 2.23 C^{0.3} \quad (3式)$$

$$MCI2 = 10 - 0.54 D^{0.7} \quad (4式)$$

MCI: 維持管理指数 C: ひび割れ率(%)

D: わだち掘れ量(mm) σ: 平坦性 (mm)

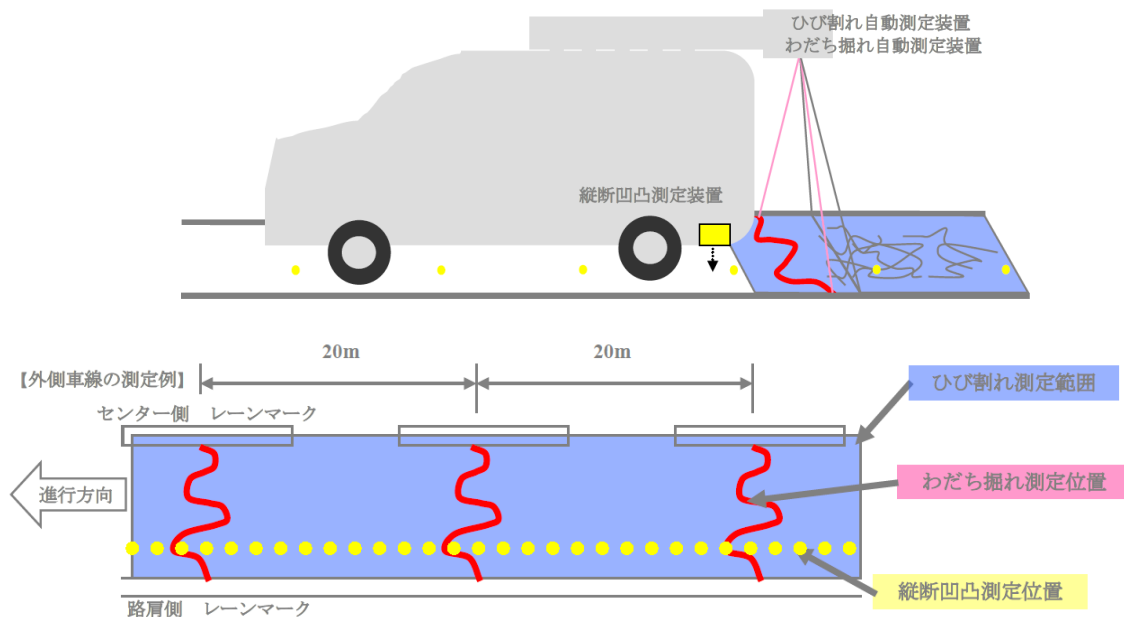
補修の必要性
現時点で補修の必要性無し (MCI > 5.0)
要観察 (3.0 ≤ MCI ≤ 5.0)
補修が必要 (MCI < 3.0)

第41回建設省技術研究会報告より

＜参考＞令和3年度の路面性状調査は、路面性状計測車を用い、「舗装調査・試験法便覧 平成31年3月 日本道路協会」に準じた解析手法により舗装の損傷状況を評価した。



路面性状計測車



データ取得方法

2. 舗装の維持管理の基本的な考え方

2.1 舗装管理の基本方針

舗装の個別施設計画に基づき、点検結果に応じた適切な措置を行うことにより、道路舗装の長寿命化や舗装の維持修繕費のライフサイクルコスト縮減を行う。

2.2 管理道路の分類（グループ分け）

路線重要度、道路幅員等を踏まえ分類する。

管理道路の分類は、「舗装点検要領 平成 28 年 10 月 国土交通省道路局」を参考に分類 C または分類 D に区分する。

分類	対象道路	
	対象となる道路	道路の特徴
分類 C の道路	重要道路	地域防災計画に位置付けられた交通量の多い幹線道路等
分類 D の道路	重要道路以外の道路	主に生活道路

<参考>

道路の分類のイメージ

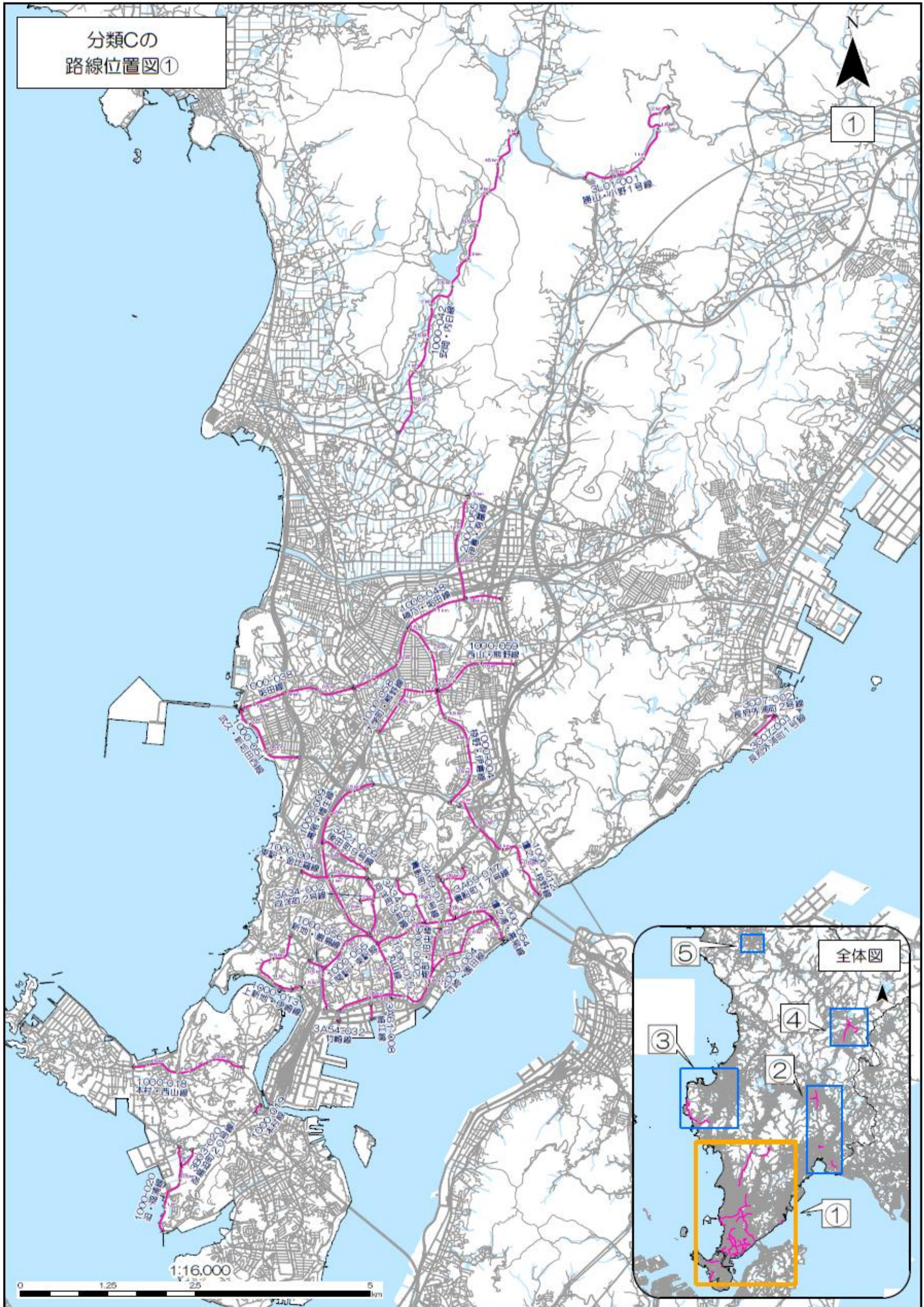
特性	分類	主な道路※1 (イメージ)
・高規格幹線道路 等 (高速走行など求められるサービス水準が高い道路)	A	高速道路
・損傷の進行が早い道路 等 (例えば、大型車交通量が多い道路)	B	直轄国道
・損傷の進行が緩やかな道路 等 (例えば、大型車交通量が少ない道路)	C	補助国道・県道
・生活道路 等 (損傷の進行が極めて遅く占用工事等の影響が無ければ長寿命)	D	市町村道

※1：分類毎の道路選定は各道路管理者が決定（あくまでイメージであり、例えば、市町村道であっても、道路管理者の判断により分類Bに区分しても差し支えない）

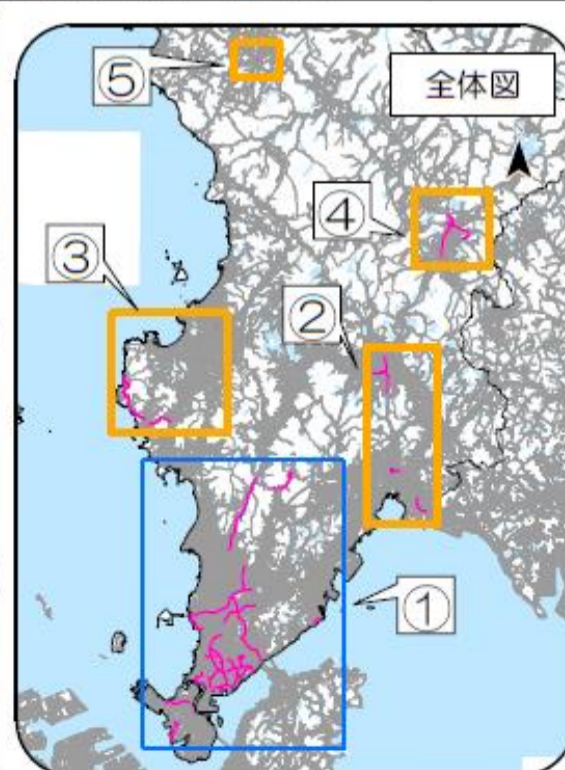
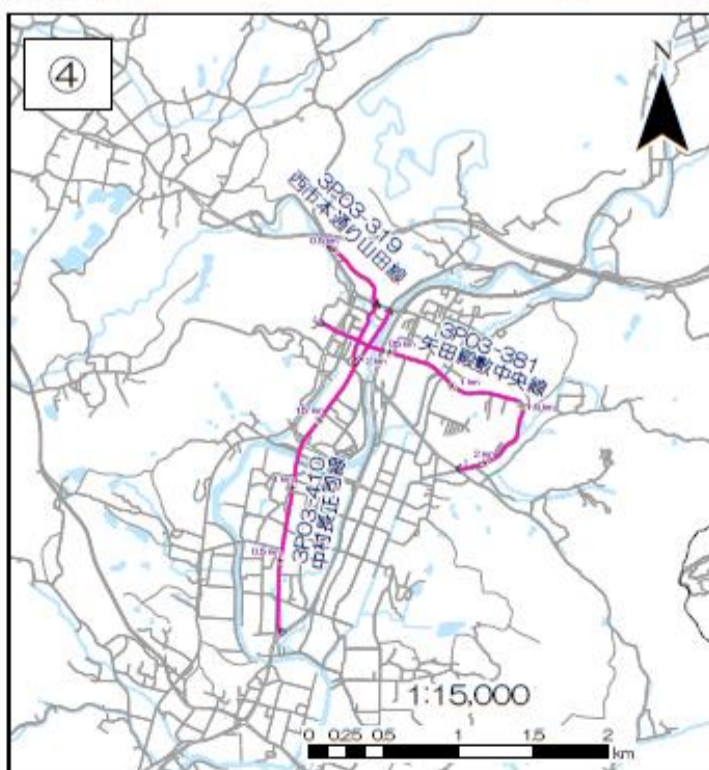
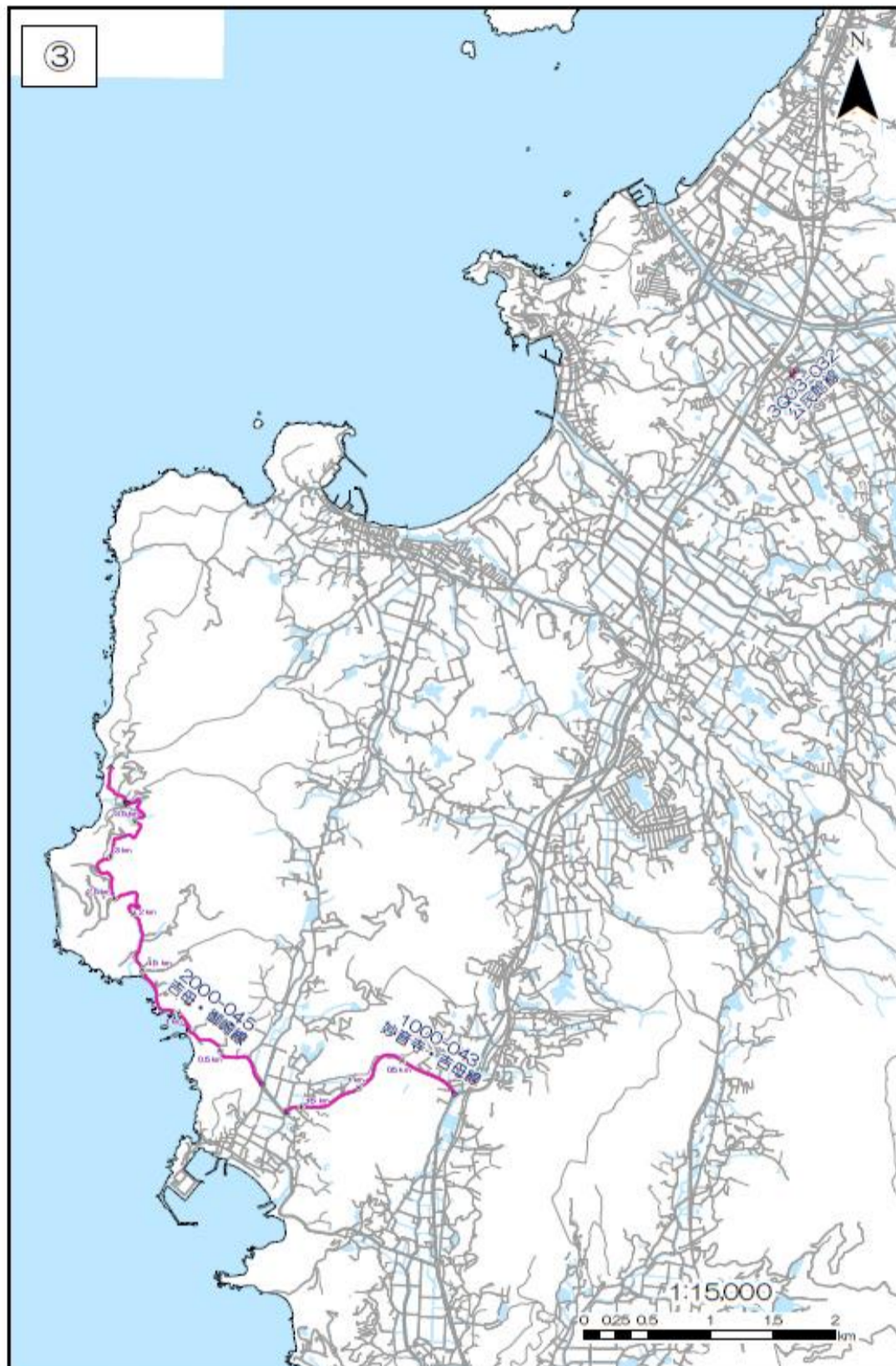
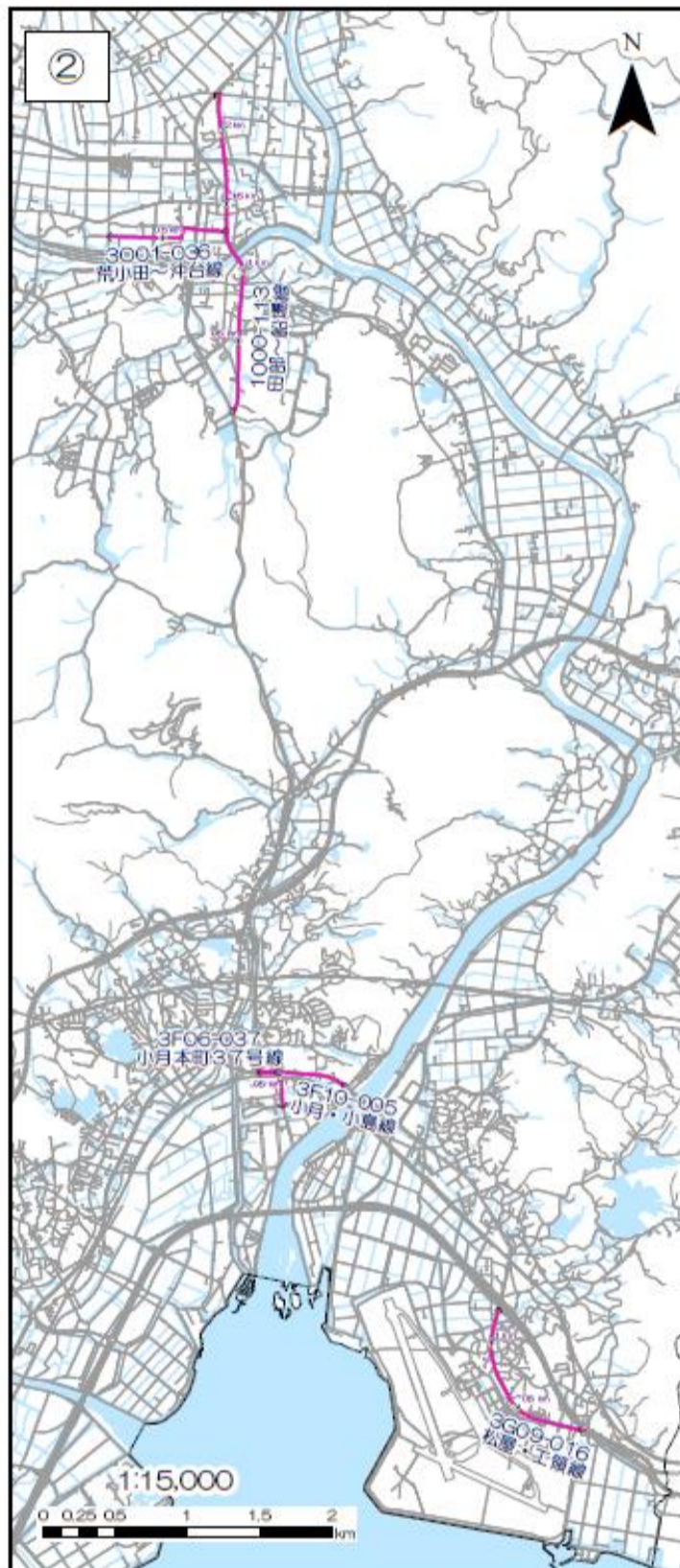
「舗装点検要領 平成 28 年 10 月 国土交通省道路局」より引用

「分類 C」重要道路の路線一覧表

道路種別	路線番号	路線名	延長 (m)
1級市道	1000-004	棕野・伊倉線	2,987
1級市道	1000-006	東駅・金比羅線	950
1級市道	1000-009	高尾・幡生線	2,495
1級市道	1000-012	壇之浦・棕野線	2,036
1級市道	1000-013	上新地・伊崎線	1,507
1級市道	1000-015	丸山線	1,007
1級市道	1000-018	本村・西山線	1,707
1級市道	1000-019	本村線	161
1級市道	1000-020	迫・福浦線	1,349
1級市道	1000-038	垢田線	1,692
1級市道	1000-042	安岡・内日線	5,115
1級市道	1000-043	妙音寺・吉母線	1,661
1級市道	1000-048	楠乃・垢田線	2,761
1級市道	1000-051	武久・新垢田西線	1,256
1級市道	1000-054	壇之浦・高尾線	2,149
1級市道	1000-055	下関駅・東駅線	2,345
1級市道	1000-056	新地・巖島線	240
1級市道	1000-058	大学町・熊野線	1,181
1級市道	1000-059	西山・熊野線	1,272
1級市道	1000-113	田部～船場線	2,276
2級市道	2000-004	竹崎・園田線	2,915
2級市道	2000-006	南部・田中線	579
2級市道	2000-045	吉母・御崎線	4,198
2級市道	2000-055	伊倉・有富線	1,533
その他市道	3A21-009	後田町9号線	780
その他市道	3A34-002	向洋町2号線	180
その他市道	3A34-003	向洋町3号線	842
その他市道	3A54-032	竹崎線	40
その他市道	3A61-008	細江線	202
その他市道	3A69-010	貴船町10号線	720
その他市道	3A69-017	貴船町17号線	524
その他市道	3B03-020	彦島迫町20号線	310
その他市道	3C07-001	長府外浦町1号線	446
その他市道	3C07-002	長府外浦町2号線	103
その他市道	3F06-037	小月本町37号線	147
その他市道	3F10-005	小月・小島線	720
その他市道	3G09-016	松屋・工領線	1,245
その他市道	3L01-001	勝山・小野1号線	2,158
その他市道	3O01-036	荒小田～沖台線	858
その他市道	3P03-319	西市本通り山田線	985
その他市道	3P03-381	矢田殿敷中央線	2,173
その他市道	3P03-410	中村長正司線	2,381
その他市道	3Q03-032	公民館線	53
その他市道	3R01-073	下市庁舎線	24
		合計	60,263



分類Cの
路線位置図②～⑤



2.3 管理基準

分類Cの道路は、路面性状調査により得られる、ひび割れ率、わだち掘れ量、平坦性を管理指標とし、指標ごとに管理基準を次のとおり設定する。

管理基準値	評価	診断結果
ひび割れ率 : 0~20% わだち掘れ量 : 0~20mm 平坦性 : 0~3mm/m	現時点で補修の必要性無し	区分Ⅰ
ひび割れ率 : 20~40% わだち掘れ量 : 20~40mm 平坦性 : 3~8mm/m	今後劣化が進行するため 表層の対策が必要	区分Ⅱ
ひび割れ率 : 40%以上 わだち掘れ量 : 40mm 以上 平坦性 : 8mm/m 以上	早急に対策が必要	区分Ⅲ

分類Dの道路は、パトロール等により現地確認を行い、舗装劣化・損傷判定シート<別紙>により判定し、その結果により優先度を決定する。

なお、分類Cの道路についても、管理基準によらず、パトロール等により現地確認を行い、必要に応じて補修対応を検討する。



ひび割れ 40%程度の例



わだち掘れ 40 mm程度の例

【管理基準の考え方】

管理基準は、そのレベルにより道路利用者へのサービス水準や舗装を維持管理するために必要となる予算に影響を与えるものである。

管理基準を安全側に高く設定すると、道路利用者へより良いサービスを提供できるが、道路管理者の維持管理費が高くなる。逆に、管理基準を低く設定すると、サービス水準は低下し、車両の走行性に支障を及ぼす。

車両の損傷、タイヤの摩耗、燃費の悪化、騒音・振動などを引き起こし、道路利用者や沿道住民の負担が大きくなり、それを補填する費用も高くなる。

したがって、道路管理者と道路利用者の双方の負担が最も少なくなるような管理基準を設定し、維持管理していく。

2.4 点検方法・点検頻度


	点検方法	点検頻度
分類Cの道路	路面性状計測車による	5～10年に1度
分類Dの道路	パトロール等により 現地調査	適宜

分類Cの道路は、5～10年に1度の調査とする。さらに、最新の調査データを使用して10年に1度、計画の見直しを検討する。

ただし、劣化が進行している区間（診断結果区分Ⅱ及びⅢの区間）については、その都度調査を行う。

分類Dの道路は、パトロール等により現地調査を行う。

【点検と計画策定のサイクル】

年度	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	R13 2031
点検頻度	● 実施(分類C)					○ (必要に応じて実施)					● 実施(分類C)
	現地調査により適宜実施(分類D) 										
計画策定・見直し	● 計画策定					○ 必要に応じて見直し					● 計画見直し

3. 計画期間

3.1 計画期間

当該個別施設計画の計画期間は、令和3～12年度の10年間とする。

3.2 計画期間内の修繕費用の見通し

修繕費用は、路面性状調査等の結果に基づく対策箇所の延長から、29億円を想定する。

(概算工事費)

分類Cの道路

区分Ⅲ = 4.8km × 100,000円/m = 480,000,000円

区分Ⅱ = 16.5km × 40,000円/m = 660,000,000円

分類Dの道路(想定)

区分Ⅲ = 4.8km × 100,000円/m = 480,000,000円

区分Ⅱ = 33.0km × 40,000円/m = 1,320,000,000円

計 2,940,000,000円

上記費用はあくまでも想定概算であり、計画10年間の修繕費用は個別箇所毎の診断結果を考慮した効率的な措置を行い、予算の平準化に配慮して各年度の対策費用を検討する。

4. 対策の優先順位(補修計画の方針)

損傷状況、路線の重要性、大型車の通行状況を考慮し補修の優先順位を決定する。

決定にあたっては、管理基準及びパトロール等による現地調査を基に総合的に判断する。

分類Cの道路については、路面性状調査の結果から舗装の損傷状況の評価を行い、損傷の多い路線から優先的に対策を実施する。

分類Dの道路については、点検結果により優先度を検討し、優先度の高い路線を適宜補修する。

5. 舗装の状態、対策内容、実施時期

5.1 診断結果

令和3年度に実施した分類Cの道路の路面性状調査結果の診断結果を以下に示す。(舗装点検要領に準拠)

令和3年度路面性状調査結果の診断結果

道路分類	調査延長	区分Ⅰ (健全)	区分Ⅱ (表層機能保持段階)	区分Ⅲ (修繕段階)
分類C	60.2km	38.9km	16.5km	4.8km

分類Dの道路についても、今後適宜パトロール等により現地確認を行い、舗装劣化・損傷判定シートにより診断する。

＜参考＞診断区分は、「舗装点検要領 平成28年10月 国土交通省道路局」を参考に整理した。

区分	状態
Ⅰ 健全	損傷レベル小：管理基準に照らし、劣化の程度が小さく、舗装表面が健全な状態である。
Ⅱ 表層機能保持段階	損傷レベル中：管理基準に照らし、劣化の程度が中程度である。
Ⅲ 修繕段階	損傷レベル大：管理基準に照らし、それを超過している又は早期の超過が予見される状態である。

なお、目視で判断する場合は、「付録-4 損傷評価の例 【損傷の進行が緩やかな道路等のアスファルト舗装】」を参照するとよい。

「舗装点検要領 平成28年10月 国土交通省道路局」より引用

各区分の閾値は、舗装点検要領の「付録-4 損傷評価の例【損傷の進行が緩やかな道路等のアスファルト舗装】」を参考とし、以下のとおりとする。

- ・ 区分Ⅰ：ひび割れ 20%未満、わだち掘れ 20 mm未満
- ・ 区分Ⅱ：ひび割れ 20%以上 40%未満、わだち掘れ 20 mm以上 40 mm未満
- ・ 区分Ⅲ：ひび割れ 40%以上、わだち掘れ 40 mm以上

5.2 対策内容と実施時期

- ・対策内容は、診断区分Ⅱ以上について対策を行うこととし、舗装点検要領に準じて、診断区分Ⅱ（表層機能保持段階）は切削オーバーレイ等の表層工事、診断区分Ⅲ（修繕段階）は打換え工事を基本とする。
- ・実施時期は、計画期間10年を目標とし実施する。
- ・また、適切な工法選定（舗装の長寿命化）のため、必要に応じて工事前に詳細調査（FWD調査、CBR調査、試掘等）を検討する。

対策路線一覧表

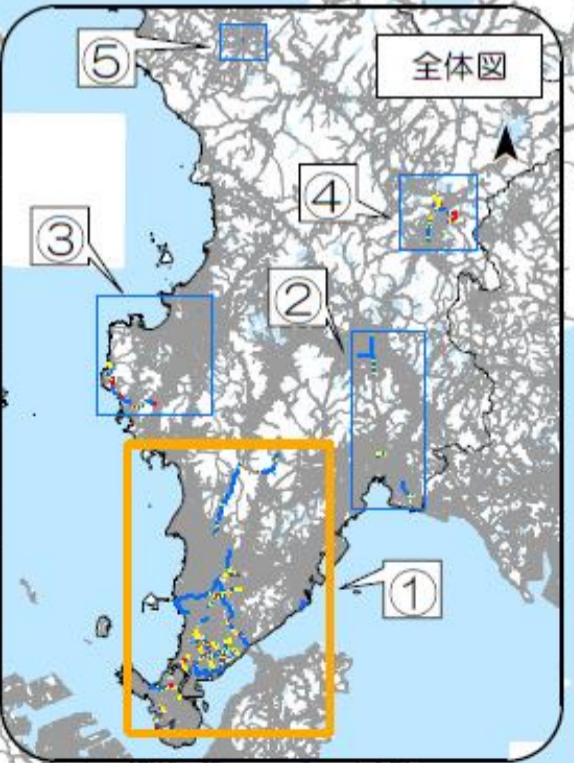
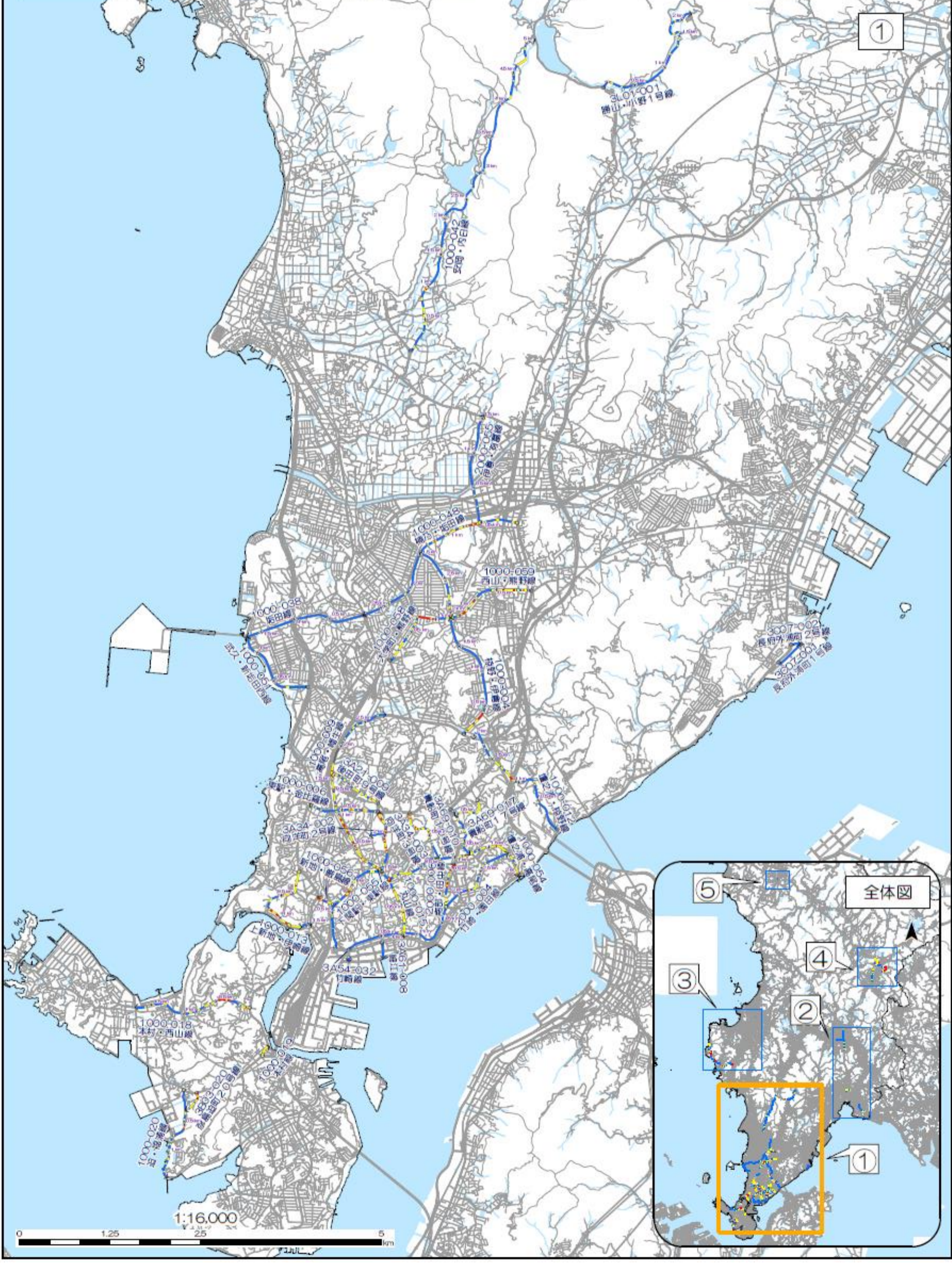
道路 種別	路線番号	路線名	診断区分Ⅰ (健全) (m)	診断区分Ⅱ (表層機能維持段階)		診断区分Ⅲ (修繕段階)		概算対策費計 (千円)	延長計 (m)
				(m)	概算対策費 (千円)	(m)	概算対策費 (千円)		
1級市道	1000-004	棕野・伊倉線	2,260	467	23,350	260	28,600	51,950	2,987
1級市道	1000-006	東駅・金比羅線	680	230	11,500	40	4,400	15,900	950
1級市道	1000-009	高尾・幡生線	831	1,324	66,200	340	37,400	103,600	2,495
1級市道	1000-012	壇之浦・棕野線	1,520	456	22,800	60	6,600	29,400	2,036
1級市道	1000-013	上新地・伊崎線	411	856	42,800	240	26,400	69,200	1,507
1級市道	1000-015	丸山線	280	627	31,350	100	11,000	42,350	1,007
1級市道	1000-018	本村・西山線	967	520	26,000	220	24,200	50,200	1,707
1級市道	1000-019	本村線	0	160	8,000	1	110	8,110	161
1級市道	1000-020	迫・福浦線	980	300	15,000	69	7,590	22,590	1,349
1級市道	1000-038	垢田線	1,692	0	0	0	0	0	1,692
1級市道	1000-042	安岡・内日線	4,226	869	43,450	20	2,200	45,650	5,115
1級市道	1000-043	妙音寺・吉母線	1,001	380	19,000	280	30,800	49,800	1,661
1級市道	1000-048	楠乃・垢田線	1,960	617	30,850	184	20,240	51,090	2,761
1級市道	1000-051	武久・新垢田西線	1,216	40	2,000	0	0	2,000	1,256
1級市道	1000-054	壇之浦・高尾線	909	1,160	58,000	80	8,800	66,800	2,149
1級市道	1000-055	下関駅・東駅線	1,360	680	34,000	305	33,550	67,550	2,345
1級市道	1000-056	新地・蔵島線	80	100	5,000	60	6,600	11,600	240
1級市道	1000-058	大学町・熊野線	461	500	25,000	220	24,200	49,200	1,181
1級市道	1000-059	西山・熊野線	488	564	28,200	220	24,200	52,400	1,272
1級市道	1000-113	田部～船場線	1,721	475	23,750	80	8,800	32,550	2,276
2級市道	2000-004	竹崎・園田線	2,555	340	17,000	20	2,200	19,200	2,915
2級市道	2000-006	南部・田中線	220	260	13,000	99	10,890	23,890	579
2級市道	2000-045	吉母・御崎線	2,384	878	43,900	936	102,960	146,860	4,198
2級市道	2000-055	伊倉・有富線	1,453	80	4,000	0	0	4,000	1,533
その他市道	3A21-009	後田町9号線	300	440	22,000	40	4,400	26,400	780
その他市道	3A34-002	向洋町2号線	180	0	0	0	0	0	180
その他市道	3A34-003	向洋町3号線	322	420	21,000	100	11,000	32,000	842
その他市道	3A54-032	竹崎線	40	0	0	0	0	0	40
その他市道	3A61-008	細江線	202	0	0	0	0	0	202
その他市道	3A69-010	貴船町10号線	560	160	8,000	0	0	8,000	720
その他市道	3A69-017	貴船町17号線	104	420	21,000	0	0	21,000	524
その他市道	3B03-020	彦島迫町20号線	50	200	10,000	60	6,600	16,600	310
その他市道	3C07-001	長府外浦町1号線	446	0	0	0	0	0	446
その他市道	3C07-002	長府外浦町2号線	103	0	0	0	0	0	103
その他市道	3F06-037	小月本町37号線	47	100	5,000	0	0	5,000	147
その他市道	3F10-005	小月・小島線	480	240	12,000	0	0	12,000	720
その他市道	3G09-016	松屋・工領線	925	320	16,000	0	0	16,000	1,245
その他市道	3L01-001	勝山・小野1号線	1,823	315	15,750	20	2,200	17,950	2,158
その他市道	3O01-036	荒小田～沖台線	798	60	3,000	0	0	3,000	858
その他市道	3P03-319	西市本通り山田線	249	736	36,800	0	0	36,800	985
その他市道	3P03-381	矢田殿敷中央線	1,156	297	14,850	720	79,200	94,050	2,173
その他市道	3P03-410	中村長正司線	1,415	881	44,050	85	9,350	53,400	2,381
その他市道	3Q03-032	公民館線	33	20	1,000	0	0	1,000	53
その他市道	3R01-073	下市庁舎線	13	11	550	0	0	550	24
合計			38,901	16,503	825,150	4,859	534,490	1,359,640	60,263

令和3年度 下関市
診断区分図①

着色区分	健全性区分	補修の必要性	ひび割れ率	わだち掘れ
■ (損傷レベル小)	健全	現時点で補修の必要性なし	0%~20%未満	かつ 0mm~20mm未満
■ (損傷レベル中)	表層機能保持段階	要観察	20%~40%未満	または 20mm~40mm未満
■ (損傷レベル大)	修繕段階	補修が必要	40%以上	または 40mm以上

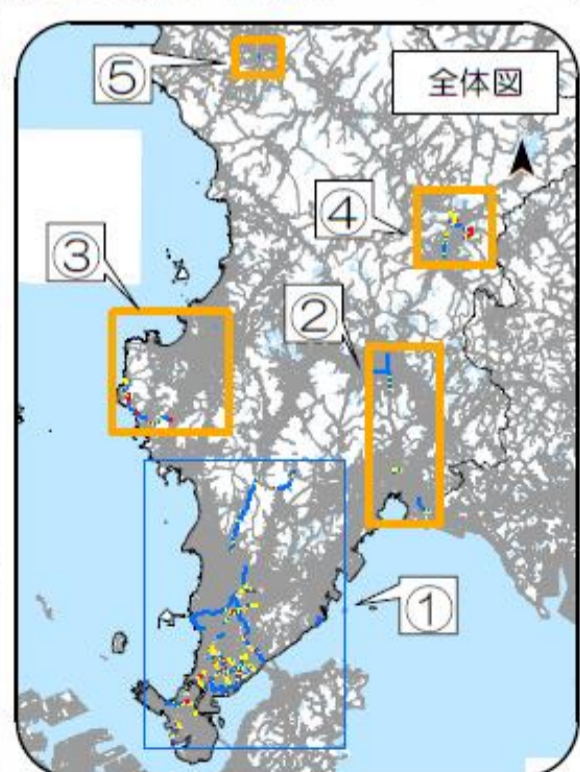
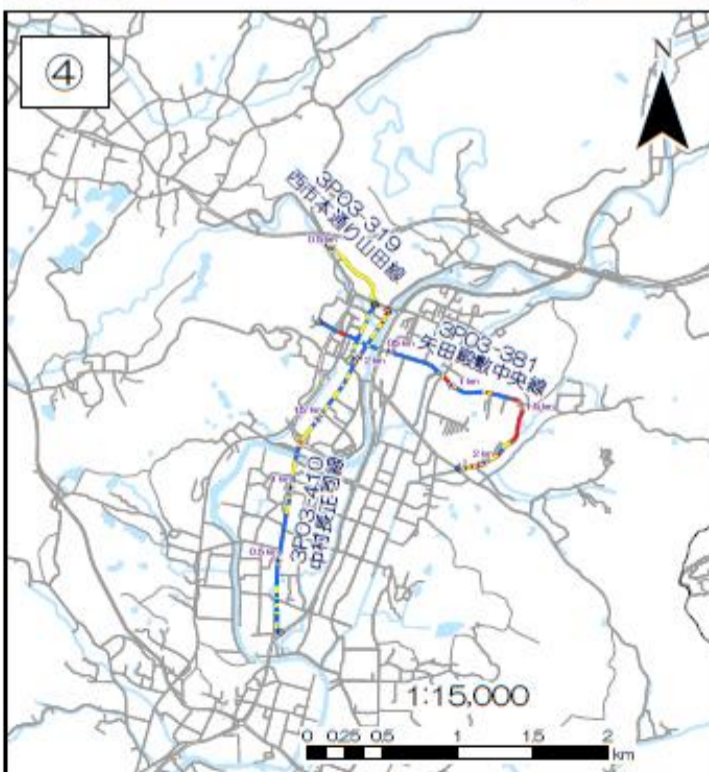
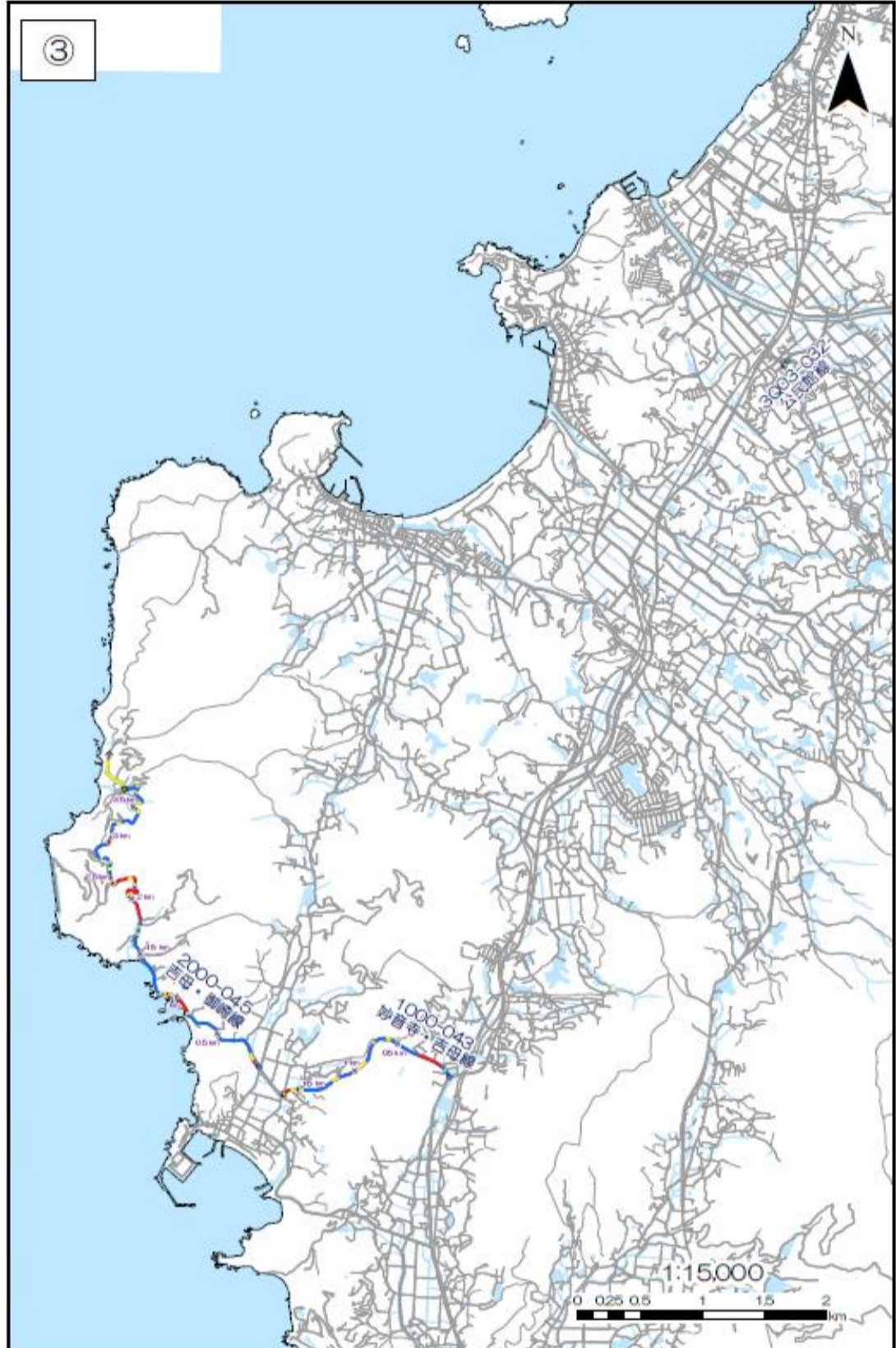
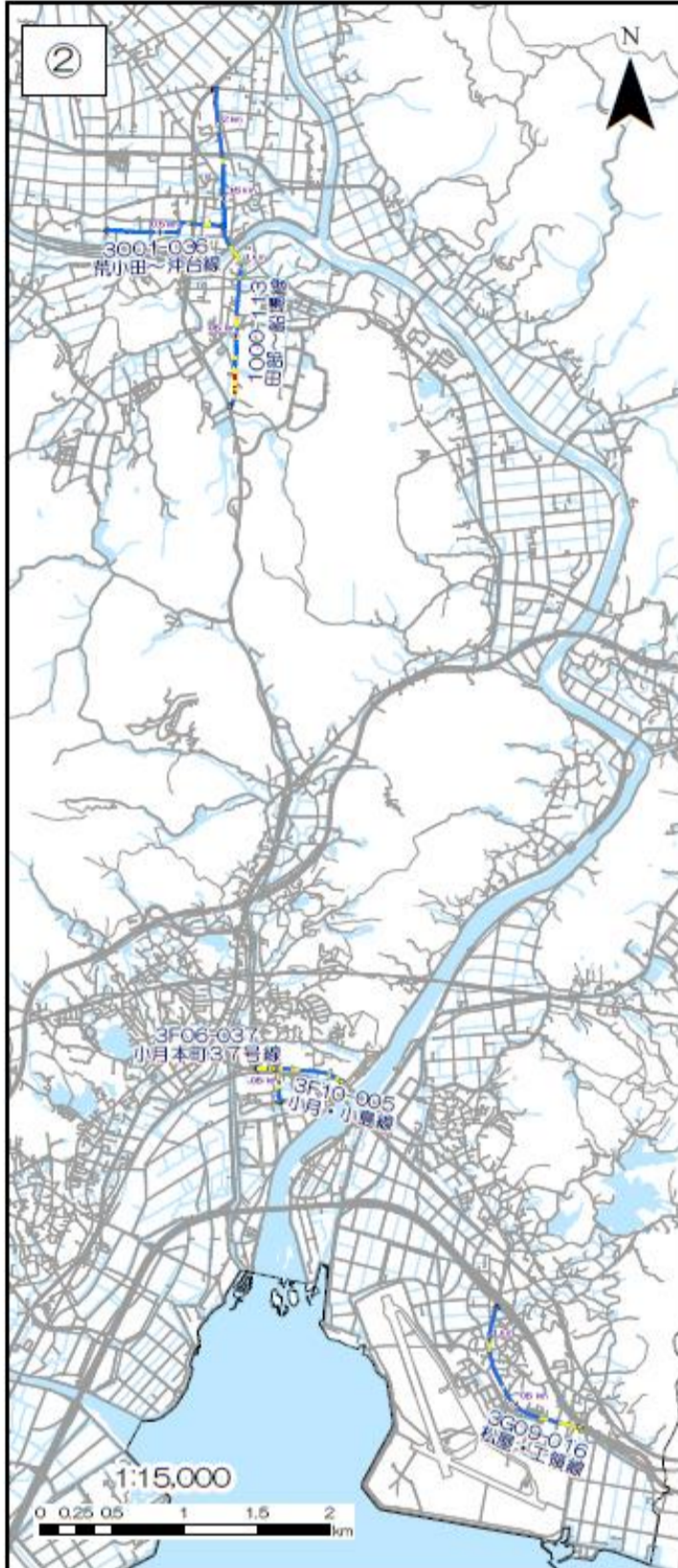


①



令和3年度 下関市
診断区分図②～⑤

着色区分	健全性区分		補修の必要性	ひび割れ率		わだち掘れ
■ (I)	I (損傷度レベル小)	健全	現時点で補修の必要性なし	0%~20%未満	かつ	0mm~20mm未満
■ (II)	II (損傷度レベル中)	表層機能保持段階	要観察	20%~40%未満	または	20mm~40mm未満
■ (III)	III (損傷度レベル大)	修繕段階	補修が必要	40%以上	または	40mm以上



対策路線一覧表（分類D道路）

地区	路線名	診断区分Ⅱ (表層機能維持段階)		診断区分Ⅲ (修繕段階)		概算対策費計 (千円)
		(m)	概算対策費 (千円)	(m)	概算対策費 (千円)	
旧市内	山の田本町3号線	30	1,200	30	3,000	4,200
旧市内	豊前田町2号線	164	6,560	30	3,000	9,560
旧市内	細江町2号線	123	4,920	20	2,000	6,920
旧市内	後田町26号線	1,100	44,000	80	8,000	52,000
旧市内	上田中町11号線	920	36,800	60	6,000	42,800
旧市内	西大坪町3号線	90	3,600	20	2,000	5,600
旧市内	壇之浦町2号線	100	4,000	30	3,000	7,000
旧市内	幡生本町7号線	150	6,000	70	7,000	13,000
旧市内	上田中町6号線	100	4,000	20	2,000	6,000
旧市内	椋野町54号線	570	22,800	20	2,000	24,800
旧市内	山の田南町14号線	273	10,920	50	5,000	15,920
旧市内	南部町11号線	6	240	20	2,000	2,240
山陰	勝山勝谷新町8号線	400	16,000	30	3,000	19,000
山陰	川中稗田南町3号線	339	13,560	20	2,000	15,560
山陰	川中綾羅木本町46号線	250	10,000	30	3,000	13,000
山陰	川中熊野町20号線	50	2,000	20	2,000	4,000
山陰	川中稗田北町7号線	90	3,600	20	2,000	5,600
山陰	川中垢田町32号線	100	4,000	50	5,000	9,000
山陰	吉見本町50号線	820	32,800	20	2,000	34,800
山陰	安岡蒲生野30号線	300	12,000	20	2,000	14,000
山陰	勝山楠乃9号線	596	23,840	20	2,000	25,840
山陰	勝山前勝谷町9号線	313	12,520	40	4,000	16,520
山陰	勝山勝谷新町3号線	98	3,920	10	1,000	4,920
山陰	勝山勝谷新町5号線	702	28,080	90	9,000	37,080
山陰	逢坂線	1,500	60,000	80	8,000	68,000
山陰	川中熊野町7号線	20	800	50	5,000	5,800
山陰	川中豊町38号線	600	24,000	306	30,600	54,600
山陰	勝山楠乃32号線	837	33,480	80	8,000	41,480
山陰	安岡駅前町21号線	200	8,000	60	6,000	14,000
山陰	綾羅木・富任線	300	12,000	60	6,000	18,000
山陰	勝山勝谷新町26号線	100	4,000	60	6,000	10,000
山陰	勝山一の宮本町10号線	200	8,000	60	6,000	14,000
山陰	勝山勝谷16号線	786	31,440	80	8,000	39,440
山陰	勝山秋根6号線	278	11,120	60	6,000	17,120
山陰	川中垢田町14号線	200	8,000	60	6,000	14,000
山陰	川中延行13号線	100	4,000	60	6,000	10,000
山陰	川中稗田北町12号線	300	12,000	60	6,000	18,000
山陽	印内・才川線	2,400	96,000	200	20,000	116,000
山陽	松小田・才川線	300	12,000	250	25,000	37,000
山陽	長府才川27号線	250	10,000	60	6,000	16,000
山陽	浜浦台・高畑線	1,400	56,000	50	5,000	61,000
山陽	畑・才田線	2,500	100,000	80	8,000	108,000
山陽	王司・小月線	1,300	52,000	60	6,000	58,000
山陽	宇部・神田線	1,200	48,000	50	5,000	53,000
山陽	王司員光21号線	600	24,000	60	6,000	30,000
山陽	清未清未22号線	224	8,960	20	2,000	10,960
山陽	長府扇町7号線	800	32,000	50	5,000	37,000
彦島	本村町29号線	50	2,000	77	7,700	9,700
彦島	江の浦町3号線	130	5,200	60	6,000	11,200
彦島	本村町31号線	1,000	40,000	20	2,000	42,000
彦島	塩浜町31号線	1,100	44,000	80	8,000	52,000
豊田	矢田殿敷中央線	100	4,000	200	20,000	24,000
豊田	殿敷御幣司線	150	6,000	100	10,000	16,000
豊田	中村長正司線	500	20,000	100	10,000	30,000
豊浦	黒井室津線	300	12,000	180	18,000	30,000
豊浦	市の内線	500	20,000	200	20,000	40,000
豊浦	豊洋台幹線	700	28,000	97	9,700	37,700
豊北	津波敷田代線	20	800	180	18,000	18,800
豊北	島戸立目線	400	16,000	221	22,100	38,100
豊北	阿川田耕線	500	20,000	157	15,700	35,700
豊北	宮迫中原線	3,315	132,600	260	26,000	158,600
豊北	附野大久保線	74	2,960	20	2,000	4,960
豊北	平畑飯塚線	20	800	30	3,000	3,800
豊北	矢玉寺川線	0	0	14	1,400	1,400
豊北	無井田ノ尻線	67	2,680	30	3,000	5,680
	合計	33,005	1,320,200	4,802	480,200	1,800,400

<別紙>

舗装劣化・損傷判定シート

整理番号	点検年月日	路線名	点検場所	評価点		
	R3.8.16	●●線	○○町	100		
評価項目	詳細		基準点	評点	備考	
ひび割れ率	40%程度以上		10	10		
	20～40%程度		7			
	0～20%程度		4			
わだち掘れ量	40mm程度以上		10	10		
	20～40mm程度		7			
	0～20mm程度		4			
段差	あり		10	10		
	なし		4			
ポットホール	多い 5箇所以上		10	10		
	普通 4～1箇所		7			
	なし 0箇所		1			
通報、補修履歴	多い 10件以上		10	10		
	普通 9～5件		7			
	少ない 5件未満		1			
道路種別	認定市道	1、2級市道	10	10		
		その他市道	流入車両あり			8
			地区内生活道路			6
大型車の通行状況	多い 10台/h程度以上		10	10		
	普通 9～2台/h程度		7			
	少ない 1台/h程度		1			
車両交通量	通過交通あり	1,000台/12h以上（毎分2台程度以上）	10	10		
		1,000台/12h未満	7			
		100台/12h未満	5			
	地区内の車両のみ	地区内車両100台以上	7			
		地区内車両10台以上100台未満	5			
		地区内車両10台未満	2			
通学路 (学校指定)	小学校から1.0km未満		10	10		
	小学校から1.0km以上		8			
	学校指定以外の通学路（複数の通学児童が通行）		6			
	通学路としての利用確認が出来ない		4			
公共施設等からの距離 (注)病院、学校、大型商業施設等含む	施設からの距離が500m以内		10	10		
	施設からの距離が500m以上1km未満		7			
	施設からの距離が1km以上		5			